

稲作だより

～第5号 水管理 編～

きめ細やかな水管理とワキ対策で初期生育の確保

気温の上昇とともに、土壌の異常還元（ワキ）による生育抑制が懸念されます。

初期生育の確保のためにも、きめ細やかな水管理を行いましょう。

5月23日発表の東北地方の1か月予報（5月25日から6月24日）では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わり、期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予報されています。きめ細やかな水管理で初期生育を確保するとともに、ワキ対策についても留意しましょう！

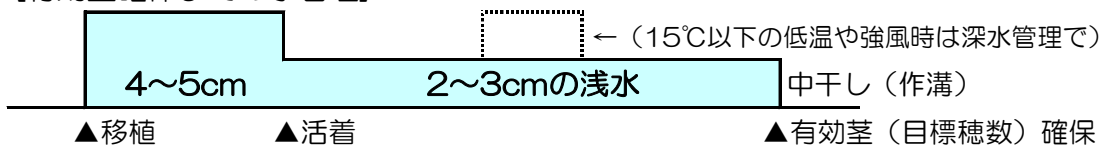
1 天候に合わせた水管理で分けつ促進！

○初期生育確保のための水管理

活着後は水深2～3cmの浅水管理とし、分けつの発生を促します。夕方または早朝に灌漑し、日中は止水して水温を高めましょう。なお、低温や強風の場合は深水にして稲体を保護します。

本年は用水の不足が懸念されております。土地改良区等の情報を基に適期・適正に灌漑しましょう。

[有効茎確保までの水管理]



○ワキや表層剥離の対策

- ・ワキ（土壌が還元しガスが湧き、根が酸素不足になる）の発生は、根を傷め、生育を停滞させます。
- ・表層剥離や藻が発生すると地温が上がらず、生育抑制されることがあります。
- ・次表を参考に、暖かい日の夜間に落水し、新鮮な水と交換しましょう。

表 ワキ(土壌の異常還元)の程度と対策

ワキの程度	生育への影響	対策
足で踏み込むと、気泡が多く発生	根の活力低下	速やかな水交換
足で踏みこむと、盛んに気泡が発生	根張りの不良	速やかな水交換、夜間落水
晴天時に自然に気泡が発生 足で踏み込むと、著しく気泡が発生、悪臭	根の伸長阻害、 葉の黄化、生育停滞	夜間落水、 曇天日に2～3日の落水

1～2日落水しても除草剤の処理層は壊れません。イネの生育確保を優先してください。

2 除草剤使用の注意点

- 高温が続くと雑草の生育が早まります。遅れずに散布しましょう。
- 効果を高めるため、除草剤の散布後7日間は止水しましょう。
- ワキが発生していないくても、除草剤散布の前に水交換を行いましょう。

3 病害虫防除は早期から

- 置き苗は葉いもちの元凶です。すぐに撤去しましょう。
- カメムシの生息地となる畦畔・農道等は、継続して草刈りを行い、斑点米カメムシ類の増加を防ぎましょう。



北村山地域の稲作情報を配信しています。
アクセスはQRコードから



やまがたアグリネット



LINE

☆春の農作業事故防止啓発運動展開中（4月1日～6月10日）

あせらず、ゆとりを持って農作業をしましょう。周囲の方にも、声掛けを！
☆熱中症に要注意!! 作業前・作業中の水分補給とこまめな休憩をとりましょう。

【発行】村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8630,8631